

基本情報



写真出所：八頭町提供

位置図

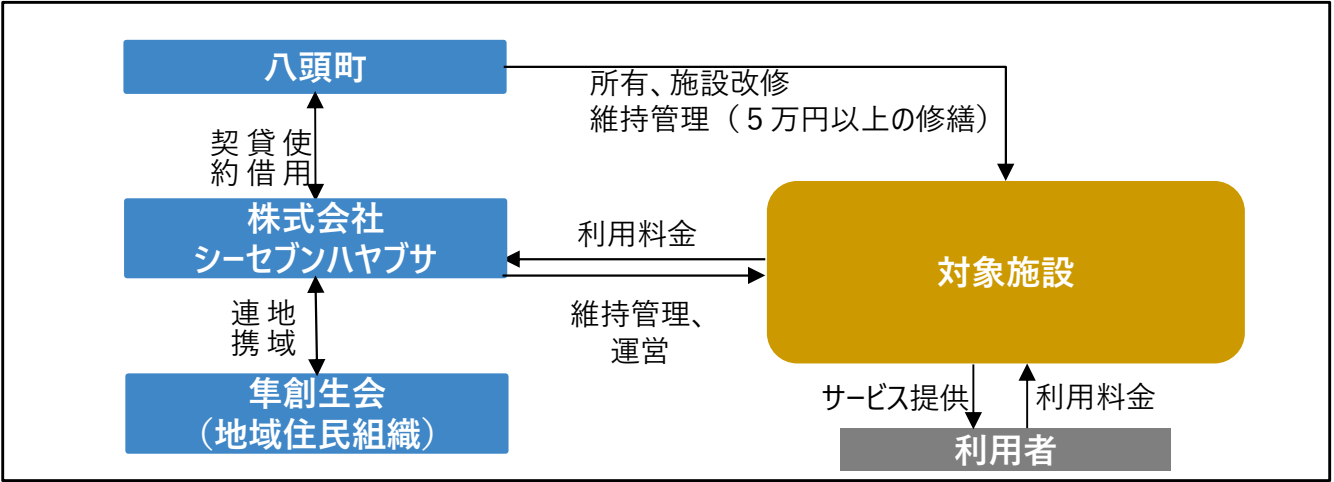
鳥取県八頭郡八頭町見槻中154-2



電子国土基本図（オルソ画像 2023年10月撮影）を加工して作成

事業主体	鳥取県八頭郡八頭町（人口：14,348人 ※令和8年1月現在）
事業手法	使用貸借
民間事業者の 業務内容	・運營業務（コワーキングスペース、シェアオフィス） ・交流施設テナント管理業務（カフェ、ショップ） ・維持管理業務（5万円以上の修繕は町が実施）
事業期間	5年（令和4年～令和8年）
事業費等	・改修費 約180百万円（うち国庫補助約90百万円）
活用した 補助金	・地方創生人材支援制度（内閣府） ・地方創生拠点整備交付金（内閣府）約90百万円
事業者	株式会社シーセブンハヤブサ（町内企業）
事業経緯	・平成27年 八頭イノベーション・バレーの創設に向けた検討（民間事業者委託） ・平成28年 隼地区及び隼Lab.連携運営協議会 ・平成28年 まちづくり事業会社設立準備委員会を設置 ・平成29年 廃校・修繕・供用開始 ・令和3年 使用貸借契約（次期）開始

事業スキーム図



掲載内容
に関する
問合せ先

八頭町企画課地域戦略室
TEL：0858-76-0213
Email：yazu-kikaku@town.yazu.tottori.jp

検討経緯

- 平成27年策定の第1期八頭町総合戦略の重点取組事項「八頭イノベーション・バレーの創設」に基づき検討を開始。地方創生人材支援制度を活用し、専門家のノウハウと外部視点を生かしながら戦略を策定。また、事業推進計画策定を民間事業者に委託。
- 平成28年に隼地区及び隼Lab.連携運営協議会、まちづくり事業会社設立準備委員会を設置し、**地域住民や民間企業、銀行を巻き込んでプロジェクトを推進。**
- 平成29年の廃校後、リノベーション工事を実施し、**地域の拠点となるとともに、企業のサテライトオフィス等を誘致することで新たな雇用の場の創出を目指すことを目的に同年供用開始。**

取組のポイント

- 事業者の収益を確保していくための工夫を、準備段階から民間企業の意見を踏まえて検討し、委託事業の発注も含めて経営を黒字化させている。
- 町が運営協議会や事業会社設立準備委員会を設置し、**供用開始前から民間事業者とともに誘致イベントへ参加する等の、企業や大学への働きかけを実施することで、オープン前にオフィスの8割が入居決定。オープン後3年以内に満室となる。**
- 事業者は地域金融機関からの出向員によるサポートを受けつつ、行政、関連企業との連携を図り、**入居企業の経営を多角的にサポートしている。**
- **住民がコミュニティスペースを使用する前提で運営協議に主体的に参加。9つの集落が加入する隼創生会を設立し、スムーズな意見集約・合意形成を実現。**

得られた効果

- 地域交流スペースには、日常利用されるカフェや福祉活動団体が入居し、イベントが開催されるなど、**地域住民や従業員で賑わっている。**
- シェアオフィス、コワーキングスペース会員含め、40企業が入居。**シェアオフィスは満室状態が続き、令和3年に町の負担により増築（増築部分も同様に使用貸借）。**
- 平成30年度より半年間の経営スクール「隼Academy」やベンチャー育成プログラム「TORIGGER」を実施し、**17件の起業・創業を実現。**入居企業と地域の事業者との連携や、事業者同士のコミュニティが創出されている。

■ 利活用前



写真出所：八頭町提供



■ 利活用後

